

「2025年の新年を迎えて」



日本複合・防音床材工業会会長
朝日ウッドテック株式会社
執行役員商品部長 伊藤真浩



新年あけましておめでとうございます。

日頃より工業会の活動にご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。本年も引き続き、よろしくお願い申し上げます。

昨年も多くの皆様に支えられながら、工業会としての使命を果たすべく活動を展開することができました。一方で、住宅をはじめ建築業界においては住宅着工数の低迷や原材料価格の高止まり、そしてエネルギー価格の不安定化といった厳しい環境の中での試練が続きました。このような状況下においても、会員の皆様の粘り強い取り組みやご協力をいただけたことに、心より敬意と感謝を申し上げます。

これらの課題に直面しながらも、業界としての技術的な進歩や新たな取り組みが少しずつ実を結びつつあります。特に持続可能な社会の実現を目指し、資材の効率的な活用や環境負荷の低減を重視した取り組みが一層求められる時代となっています。工業会としても、こうした流れに適應し、業界全体の発展に寄与するための活動を今後も進めてまいります。

以下に、昨年 の 主要な活動を振り返り、今後の展望についてご紹介いたします。

まず、技術委員会については、床暖房試験規格運用検討チーム、床暖房適合防音フローリング規格検討会と相互に連携しながら活動を進めました。2023年4月に開始した床暖房試験規格運用制度（JAFMAが定めた条件、手続きを満した会員販売の床暖房適合複合フローリングをJAFMAに登録する制度）は大きな問題は生じていませんが、製品ライフサイクルの関係からまだ利用を開始されてい

ない、もしくは利用の意向があるもののまだ事務手続きを完了されていない会員企業様がおられるため、より合理的な手続きとすべく取り組んでいます。また、2024年3月から防音直貼りフローリングの床暖房試験規格制定の検討を開始しました。大変難しい課題ではありますが、関係者の皆様と方向性を合わせ、合理的な試験規格設定を目標に進めてまいります。

資材流通委員会ですが、会員への情報提供、知見アップを目標に2回の見学会を実施しました。5月にUR都市機構が運営する「URまちとくらしのミュージアム」、10月にはCLTと鉄骨ハイブリッド構造を日本で初めて採用した「兵庫県林業会館」の見学会を開催し、多数の会員にご参加いただきました。2025年度も引き続き2回の見学会を開催予定であり、会員間の交流と知識共有を図ってまいります。

広報委員会は、JAFMAホームページ「フローリング・ナビ」のコンテンツ拡充、更新を行いました。8年前に掲載した「マンション・戸建てリフォーム Q&A」の回答について、商品、施工方法、対応窓口などを現状に即した内容に修正しました。JAFMA独自のコンテンツ「LL-45聞き比べ音声ファイル」を掲載しているページの階層を変更した結果、アクセス数の増加に繋がりました。2025年度は、この1年でアクセス数が約2倍に増加している「ペットフローリング」のコンテンツ拡充を中心に、より中身のある情報発信を進めてまいります。

最後に、皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げますとともに、工業会会員の皆様並びに「産・官・学」関係者の方々のより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。本年も変わらぬお引き立てのほどよろしくお願い申し上げます。